

11j 情報セキュリティ対策実践 ～基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編～(New)

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室
・講師	富士通九州システムズ(FJQS) 齋藤 るり子氏
・開催月日	H30年08月29日(水)・30日(木)・31日(金)
・実施時間・日数	9:30 ～ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

情報セキュリティ対策技術を活用して、セキュアな事業や業務環境をこれから構築・運用される方。

3. カリキュラムの概要

情報セキュリティ上のリスクは、企業や組織に大きな被害や影響をもたらすため、適切な予防と事後対応が必要不可欠です。本研修では、情報セキュリティ対策を進めていく上で基本となる、**アクセス制御技術、認証技術、暗号利用技術、ウイルス対策技術**などの基礎知識を体系的に講義で学習します。また、**セキュアな環境を構築・運用するためのポイント**をシミュレーター実習およびグループ演習で修得します。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
1.情報セキュリティの考え方	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの現状と必要性 ・情報セキュリティの基本概念 ・ISMSについて<補足> 機密性、完全性、可用性について 【FJQS演習1】 ・皆様の周りのセキュリティ事故事例を棚卸する ・皆様の周りのセキュリティ事故事例の防止法を検討する 【演習1】 ・ICTシステムにおける脅威の洗い出し
2.ICTシステムにおける 情報セキュリティ対策技術	9.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTシステムにおける技術的対策 ・ネットワークにおけるセキュリティ対策 ・コンピュータウイルスへの対策 ・暗号技術の利用 ・認証技術の適用 ・サーバにおける情報セキュリティ対策 ・エンドポイントにおける情報セキュリティ対策 ・運用を支える要素技術 ・情報セキュリティの有効性を確保する要素技術の全体像 【FJQS演習2】 ・機密性、完全性、可用性に対する問題点を列挙する。 ・その問題点に対して、影響を考察する。 ・その問題点に対して、原因を考察する。 【シミュレーター実習1】 【シミュレーター実習2】

3.セキュア環境の構築 ・運用方法	8.0	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュア環境の構築と運用における取り組み ・リスク対応方針の検討と対策の決定 ・情報セキュリティ環境における運用作業 ・情報セキュリティの実現に向けた取り組み 【演習2】リスクアセスメントと対策の検討 【演習2-1】リスクマップへの配置 【演習2-2】対策の検討 【FJQS演習3】 ・機密性、完全性、可用性それぞれに対してポリシーを策定する
計	21.0Hr	

5. 使用教材

情報セキュリティ対策実践シリーズ 基礎から学ぶセキュア環境構築・運用入門編
(富士通ラーニングメディア)

FJQS作成演習

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 企業や組織、団体における情報セキュリティの必要性と、リスクに応じた対策の考え方を理解できる。
2. 情報セキュリティを確保するための主な対策技術について特徴を理解できる。
3. セキュア環境を構築・運用するための流れと留意点を理解できる。

7. レベル

ITSS:ITスペシャリスト育成 - [*]テクノロジー【レベル: 2】

ITSS:ソフトウェア開発育成 - [*]テクノロジー【レベル: 2】

ITSS:ITサービスマネジメント育成 - [*]メソドロジー【レベル: 2】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名